＜広報、教育、普及啓発活動＞CEPA Communication, Education and Public Awareness

外来生物勉強会「自然観察の中で外来生物とどう向き合うか」1/26（土）

大阪

主催：NACS-J自然観察指導員大阪連絡会、（社）大阪自然環境保全協会

観察会を行うときに、大阪の池や川では、カメといえばミシシッピアカミミガメ、メダカかと思ったらカダヤシ、浮かんでいる植物はボタンウキクサかホテイアオイ……というように、外来生物が普通に見られるようになりました。そこで、最近の話題を交えながら、外来生物の現状を知る勉強会を企画しました。

2005年に外来生物法が施行されました。この法律によって外来生物とのかかわり方はどう変わったのでしょうか。外来生物法で規制される内容や対処法、外来植物が引き起こす身近な環境の急激な変化、外来動物の何が問題なのかなどについて、最新の情報とともに、講師の方にお話を伺います。

自然観察や野外活動をされる方が、身近に見られる外来生物にどのように対応すればいいのか、考えるきっかけになればと思っています。ご参加お待ちしています。

（NACS-J自然観察指導員大阪連絡会事務局　廣嵜由利恵）

●1/26（土）13時～16時30分／大阪府環境情報プラザ研修室（JRまたは地下鉄「森ノ宮」駅下車徒歩4分、大阪府立公衆衛生研究所横）／✉ivent2008@jinenjo.org／事前申し込み不要／無料

ボタンウキクサ：短期間に水面を覆ってしまい、下の植物が光の不足で生育できない。また、水が酸欠になるため、魚類にも影響がある。淀川で問題となっている。

★外来生物・学習会「自然観察のなかで外来生物とどう向き合うか」の写真

あくあぴあから借りたパネル↑　↓会の始まり　受付↑　↓柴崎さん

高柳さん↑　↓全体討論　青木さん↑　↓高畠さん

↑↑↑↑↑

外来生物勉強会を行った様子。

←モンベル・フレンド

↓フェアでの出展参加協力

企業の CSR 活動に協力

←帝人のセミの抜け殻調査観察会（茨木市）

NTT データ社の水辺の外来種調べ

（長居植物園＆大阪市立自然史博物館）

↓↓↓　→

2010 年 10 月 15 日

社員・家族による“水辺の外来種調査”を日本全国で実施

～NTTデータグループ社員とその家族によるITを活用した生物多様性保全活動～

株式会社NTTデータ

NTTデータグループは、生物多様性保全という社会課題への貢献活動を目的に、財団法人日本自然保護協会（東京都中央区　理事長：田畑貞寿）の協力のもと、2010 年 6 月から 9 月までの約 3 ヶ月間、NTTデータグループの社員・家族による「生きもの情報館」を活用した水辺の外来種調査を実施しました。

この調査は、外来種生物の中でも分布の記録が十分に収集できていないとされている、アメリカザリガニやウシガエルといった水辺に生息する外来種について、日本全国の主要拠点 10 箇所でNTTデータグループ社員とその家族、のべ 230 名が分布状況の調査を行い、自然保全活動を IT で支援する市民参加型WEBサイト「生きもの情報館」への登録を行う形で実施されたものです。

本調査の内容は、今月愛知県名古屋市で開催される生物多様性条約第 10 回締約国会議（COP10）において日本自然保護協会から紹介されます。

【背景】

NTTデータグループでは、 中期経営の重点施策に「環境志向経営の推進」を掲げ、今年度環境メッセージ「地球ソリューション。～IT で、地球環境の課題を解いていく」を制定し、各アクションプランを推進しています。そのひとつとなる環境社会貢献活動の一環として、地域の自然や生物多様性について社員と家族に考えてもらうきっかけづくりと、当社事業を活かした社員・家族による生物多様性保全という社会課題への貢献活動を目的に、今回水辺の外来種調査を実施しました。

▲調査内容を「生きもの情報館」に登録

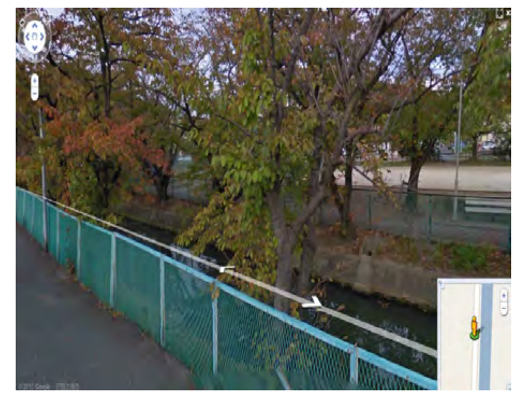
きんき環境館パートナーシップ団体（生物多様性意見交換会）←に参加。

タンポポ調査西日本 2010 の（大阪）実行委員会に参加協力。

↓↓↓

↑生物多様性 EXPO in 大阪の自然観察会

大阪自然史フェスティバルなどに出展参加→



セミの抜け殻調査報告書

調査者（団体）名：NACS－J自然観察指導員大阪連絡会　担当者：

連絡先：（住所・TEL）（ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ）

調査日：2009年 7月29日 ～ 2009年 8月26日

主な調査時間：AM 9:00 ～ AM 10:00

1回の調査参加人数：約 6人

調査実施場所：香里三井1次住宅　（住所：寝屋川市　）

調査場所の環境：元、里山であった場所を造成し昭和44年に建設された団地内

周辺の環境　その他（一部に里山が残るがほとんどは団地）

調査場所の様子　都市公園的団地内の庭

調査場所の地面　土が露出している部分や下草・落ち葉がまばらの部分あり

調査結果：

採取日	H21.7.29	H21.8.14	H21.8.26
ニイニイゼミ ♂			
ニイニイゼミ ♀	1		
ミンミンゼミ ♂			
ミンミンゼミ ♀			
アブラゼミ ♂	27	30	29
アブラゼミ ♀	36	30	48
ツクツクボウシ♂			
ツクツクボウシ♀			
ヒグラシ ♂			
ヒグラシ ♀			
クマゼミ ♂	27	32	18
クマゼミ ♀	32	43	15

気づいたこと・感想など（調査中聞こえたセミの鳴き声も記入してください）

「ニイニイゼミ」の鳴き声がよく聞こえていたわりに抜け殻が見つからなかった。昨年までは、まれに聞かれていた「ミンミンゼミ」「ヒグラシ」の鳴き声を聞くことが出来なかった。「ツクツクボウシ」の鳴き出しは8月18日であったので、8月26日の抜け殻採取日には期待していたが見つからなかった。

セミの抜け殻調査報告書2010

調査者（団体）名：NACS－J自然観察指導員大阪連絡会　担当者：

連絡先：（住所・TEL）（ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ）

調査日：2009年 7月31日 ～ 2009年 8月29日

主な調査時間：AM 9:00 ～ AM 10:00

1回の調査参加人数：約 6人

調査実施場所：三ツ島住宅　（住所：門真市　）

調査場所の環境：

周辺の環境

調査場所の様子　都市公園的団地内の庭

調査場所の地面

調査結果：

採取日	H21.7.31	H21.8.14	H21.8.29
ニイニイゼミ ♂			
ニイニイゼミ ♀			
ミンミンゼミ ♂			
ミンミンゼミ ♀			
アブラゼミ ♂	4	2	0
アブラゼミ ♀	2	2	0
ツクツクボウシ♂			
ツクツクボウシ♀			
ヒグラシ ♂			
ヒグラシ ♀			
クマゼミ ♂	185	34	10
クマゼミ ♀	304	34	14

気づいたこと・感想など（調査中聞こえたセミの鳴き声も記入してください）

－セミのぬけがら調査－

調査手引書（2010年度）

セミの抜け殻しらべ 市民ネット

協力：（財）日本自然保護協会（NACS－J）
自然観察指導員東京連絡会（NACOT）
自然観察指導員兵庫連絡会
自然観察指導員大阪連絡会
静岡県自然観察指導員会中部支部
帝人グループセミのぬけがら調査隊
NPO法人「環境ネットワーク・文京」

全国の自然観察指導員連絡会などと、セミの抜け殻市民ネットを立ち上げ、大阪府内では、門真市と寝屋川市の二カ所がコアサイトとして、観察会を兼ね、モニタリング調査を行った。